

令和5年度 群馬県の決算

【G7群馬高崎デジタル・技術大臣会合】歓迎レセプション



G7デジタル・技術大臣会合に合わせ歓迎レセプションを開催し、食やアトラクションなど心のもったおもてなしで群馬県の魅力をPRしました。

令和6年10月
群馬県総務部財政課

※ 本資料は、財政状況と主要な事業の結果を説明するための参考資料です。

◆◆◆ 目 次 ◆◆◆

○ 一般会計決算収支と主な財政指標	3
○ 令和5年度一般会計決算（歳入）	4
○ 令和5年度県税収入	5
○ 県税収入の推移	6
○ 令和5年度一般会計決算（歳出・性質別）	7
○ 令和5年度一般会計決算（歳出・款別）	8
○ 一般会計歳出決算額の推移	9
○ 群馬県の県債	10
○ 群馬県の積立基金	11
○ 財政健全化法に基づく財政指標	12
○ 令和5年度の主要事業	13

一般会計決算収支と主な財政指標

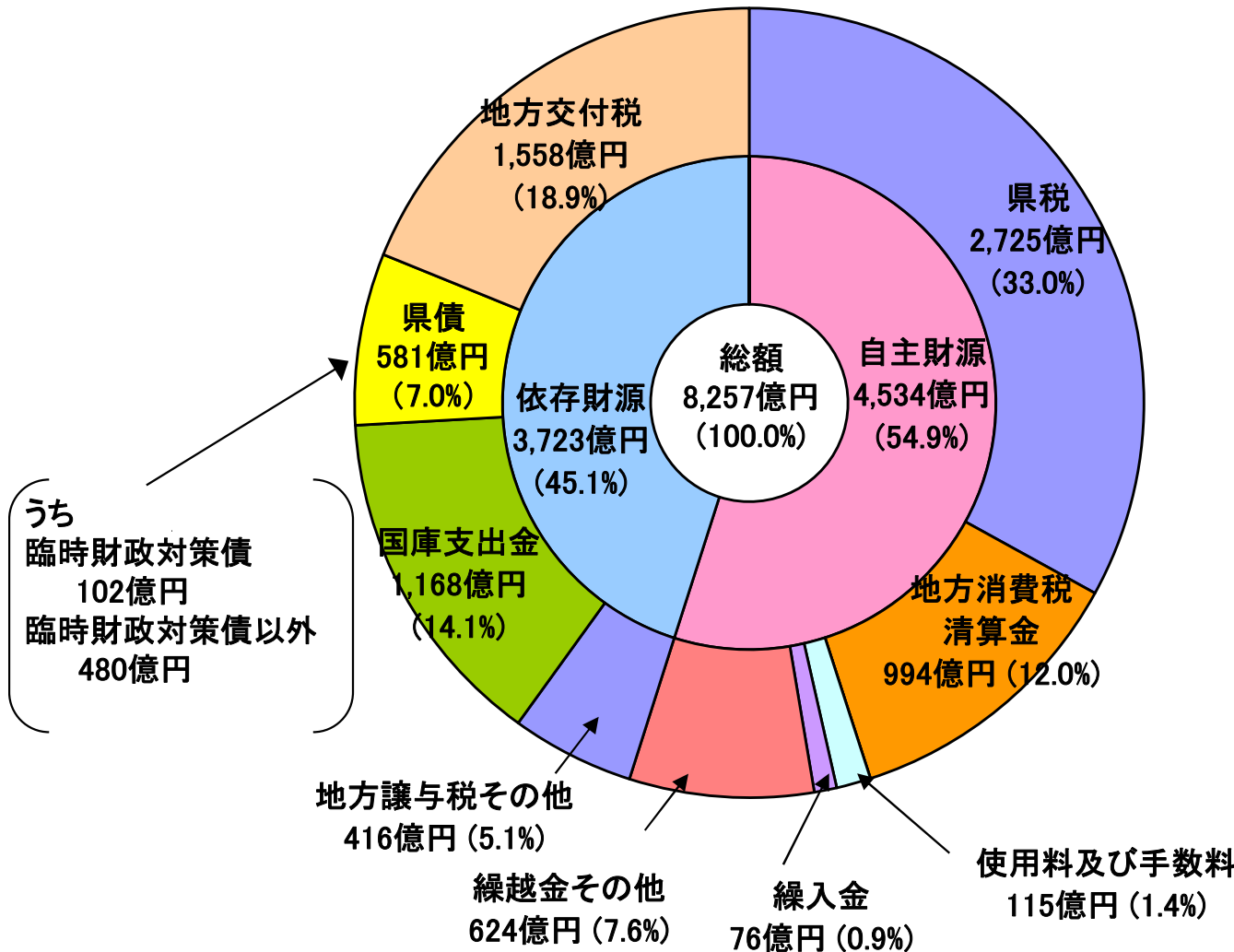
- 歳入総額は8,257億円、歳出総額は8,095億円となり、新型コロナウイルス感染症関連経費の減少等により、歳入・歳出ともに前年度を下回りました。
- 実質収支は93億円の黒字です。しかし、このうち28億円は新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金の不用額等であり、令和6年度以降に国へ返還予定です。これを除いた実質収支は、65億円の黒字です。
- 県債残高は1兆2,554億円で、前年度に比べ▲341億円減少しました。
- 財政調整基金の年度末残高は、前年度末に比べ+275億円増の920億円となりました。

区 分	R5年度決算	R4年度決算	備 考	
歳入総額	8,257 億円	9,042 億円	前年度比▲785億円、▲8.7%の減	
歳出総額	8,095 億円	8,592 億円	前年度比▲497億円、▲5.8%の減	
翌年度に繰り越すべき財源	69 億円	143 億円	前年度比▲74億円、▲51.5%の減	
実質収支	93 億円	307 億円	67年間連続して黒字	
コロナ関連国庫支出金返還予定額除き	65 億円	125 億円		
県税収入	2,725 億円	2,634 億円	法人の事業税において企業の業績が好調だったことや、個人の県民税において令和4年中の所得が前年より増加したことなどから増加（前年度比+91億円、+3.5%の増）	
県債残高	12,554 億円	12,895 億円	前年度比▲341億円、▲2.6%の減	
臨時財政対策債	5,346 億円	5,593 億円	前年度比▲247億円、▲4.4%の減	
臨時財政対策債以外	7,207 億円	7,302 億円	前年度比▲95億円、▲1.3%の減	
プライマリーバランス（臨時財政対策債除く）	270 億円	545 億円	公債費に比べ、普通建設事業や災害復旧事業に係る県債等の発行が少なかったため、270億円の黒字	
財政調整基金残高	920 億円	646 億円	前年度比+275億円、+42.5%の増（ただし、920億円のうち214億円は、令和6年度以降の交付税の減額精算分、175億円分は新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金の事業費確定に伴う国への返還金であり、これを除いた基金残高は532億円）	
主な財政指標	財政力指数	0.59000	0.59896	財政運営の自主性の大きさを表す指数。1.00に近いほど財政力があることを表している。
	経常収支比率	90.7 %	92.9 %	経常的に支出される経費に充当された一般財源が、毎年度経常的に収入される一般財源等に占める割合
	実質公債費比率	9.3 %	9.4 %	県の借入金の返済額の大きさを、県の財政規模に対する割合で表したもの
	将来負担比率	133.6 %	144.9 %	県の借入金など現在抱えている負債の大きさを、県の財政規模に対する割合で表したもの

（注）数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、端数において合計とは一致しないものがあります。

令和5年度一般会計決算(歳入)

- 歳入は、県税(+91億円)などの増はあったものの、国庫支出金(▲947億円)や、県債(▲93億円)が減少したことなどにより、▲785億円の減となりました。
- 国庫支出金の減は、新型コロナウイルス感染症関連の国庫支出金の減少等によるものです。
- 県債の減は、臨時財政対策債及び普通建設事業等に活用した県債の減少によるものです。



(単位:億円、%)

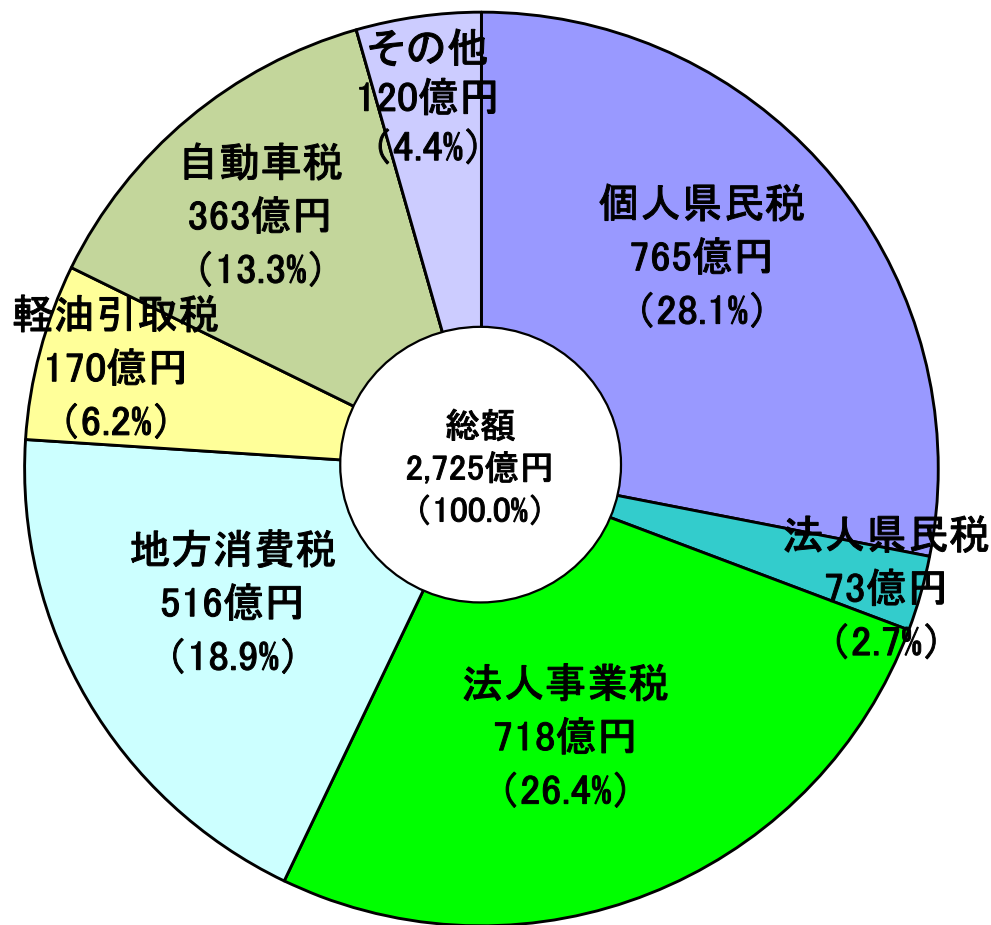
区 分	R5年度 決算額	R4年度 決算額	比 較	
			増減額	増減率
県 税	2,725	2,634	91	3.5
地方消費税清算金	994	1,000	▲ 7	▲ 0.7
使用料及び手数料	115	116	▲ 1	▲ 0.1
繰 入 金	76	101	▲ 25	▲ 25.1
繰 越 金 そ の 他	624	477	147	30.8
小計(自主財源)	4,534	4,328	206	4.8
地方交付税(※)	1,558	1,508	50	3.3
県 債	581	675	▲ 93	▲ 13.8
うち臨時財政対策債(※)	102	190	▲ 88	▲ 46.5
うち臨時財政対策債以外の県債	480	485	▲ 5	▲ 1.1
国 庫 支 出 金	1,168	2,116	▲ 947	▲ 44.8
地方譲与税その他	416	416	0	0.1
小計(依存財源)	3,723	4,713	▲ 990	▲ 21.0
合 計	8,257	9,042	▲ 785	▲ 8.7
実質的な交付税	1,659	1,697	▲ 38	▲ 2.2

(注) 数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、端数において合計とは一致しないものがあります。

※ 地方交付税+臨時財政対策債

令和5年度県税収入

○ 県税は、法人の事業税において企業業績が好調だったことや、個人の県民税において令和4年中の所得が前年より増加したことなどから、+91億円増の2,725億円となりました(過去最高)。



(単位:億円、%)

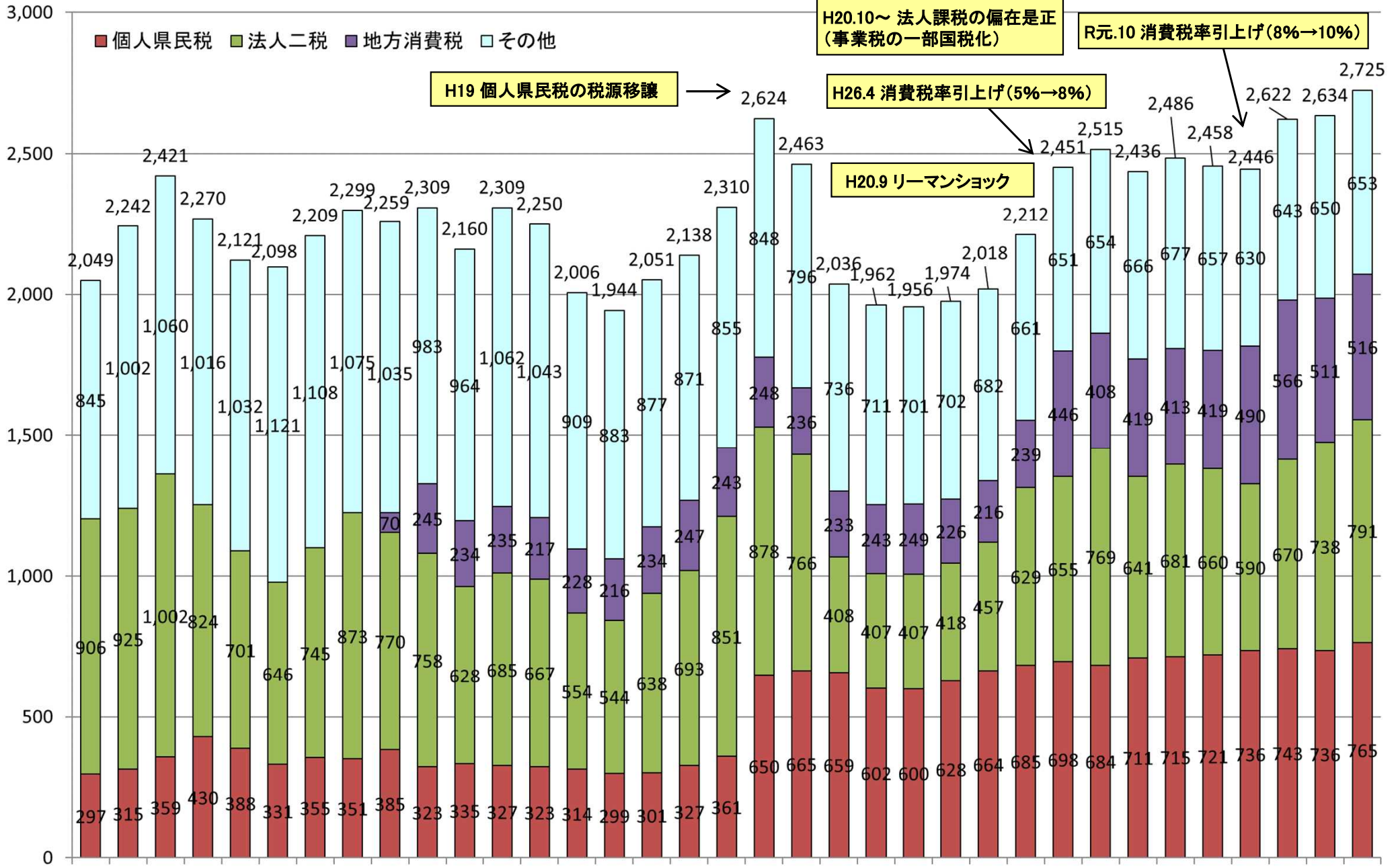
区分	R5年度 決算額	R4年度 決算額	比較	
			増減額	増減率
個人県民税	765	736	29	3.9
法人県民税	73	72	1	1.6
法人事業税	718	666	52	7.8
地方消費税	516	511	4	0.8
軽油引取税	170	166	4	2.2
自動車税	363	362	1	0.2
その他	120	121	0	0.0
合計	2,725	2,634	91	3.5
特別法人事業譲与税	366	364	1	0.4
法人事業税 + 特別法人事業譲与税	1,084	1,030	54	5.2

(注) 数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、端数において合計とは一致しないものがあります。

県 税 収 入 の 推 移

令和5年度決算額
2,725億円
前年比+91億円
+3.5%増

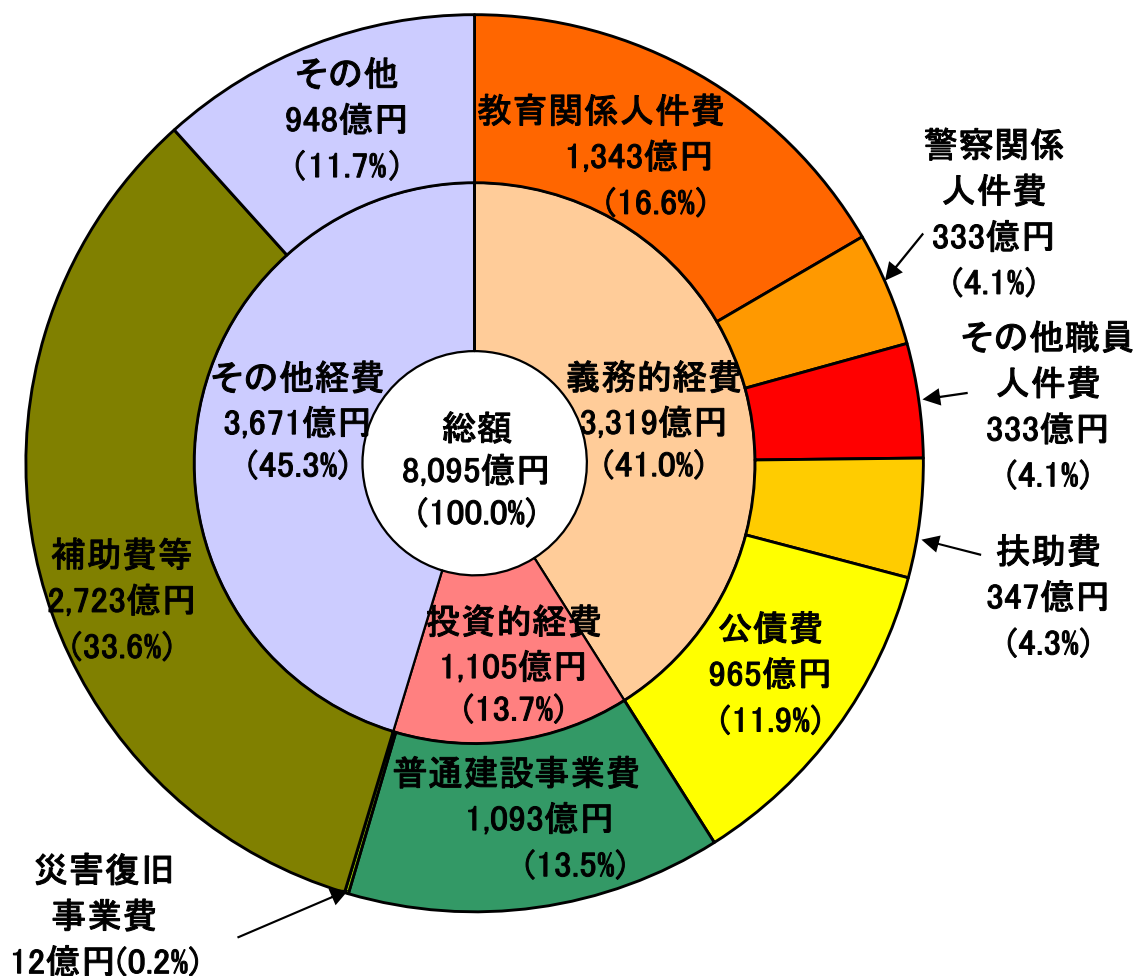
(億円)



(注) 数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、端数において合計とは一致しないものがあります。

令和5年度一般会計決算(歳出・性質別)

- 歳出は、普通建設事業費(+34億円)が増加する一方、補助費等(▲361億円)、人件費(▲122億円)の減少等により、▲497億円の減となりました。
- 補助費等が減少した主な理由は、新型コロナウイルス感染症関連経費の減によるものです。
- 人件費が減少した主な理由は、定年引き上げに伴う退職手当の減等によるものです。



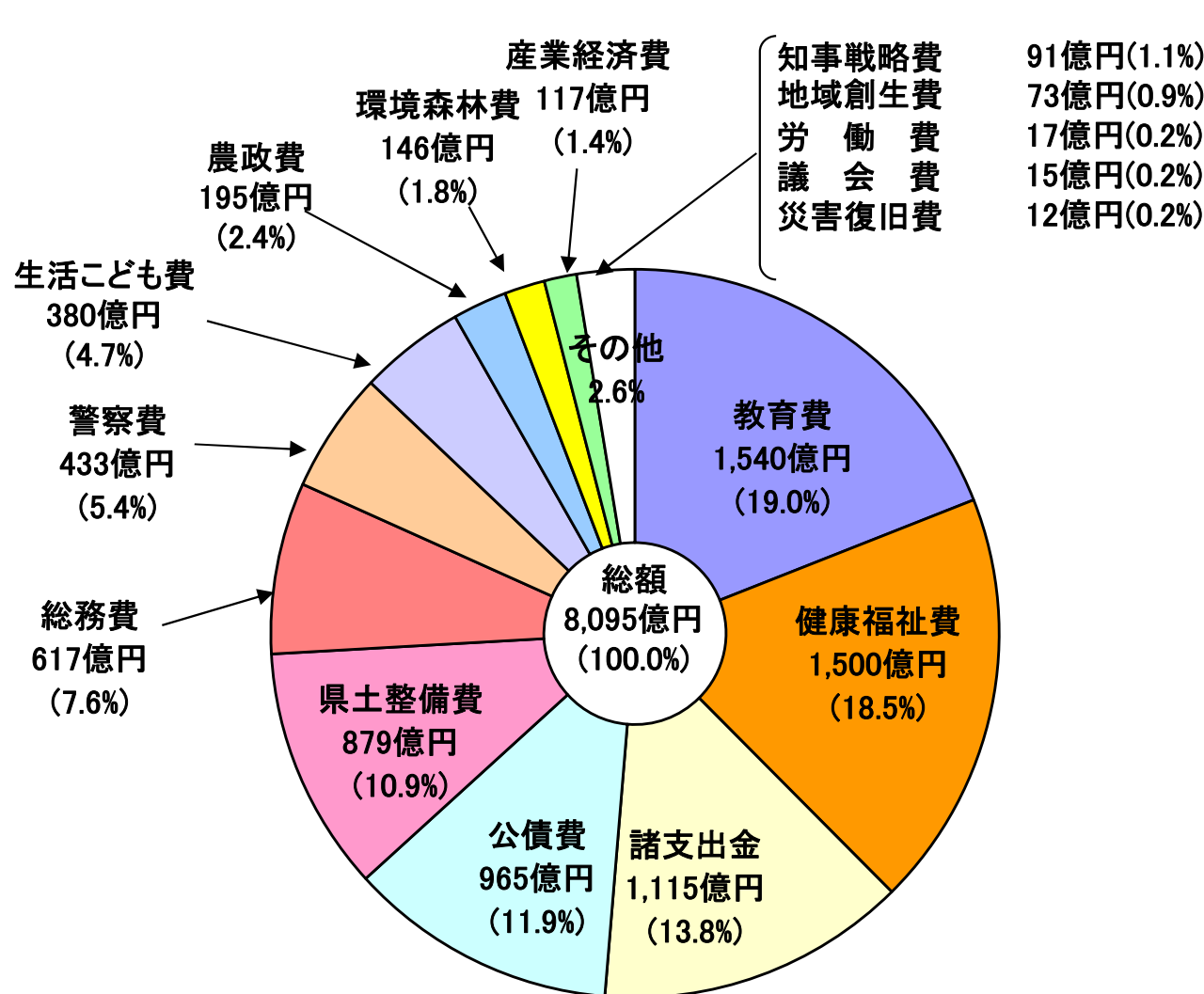
(単位: 億円、%)

区 分	R5年度 決算額	R4年度 決算額	比較	
			増減額	増減率
1 義務的経費	3,319	3,450	▲ 130	▲ 3.8
(1) 人 件 費	2,009	2,131	▲ 122	▲ 5.7
教育関係人件費	1,343	1,432	▲ 90	▲ 6.3
警察関係人件費	333	339	▲ 5	▲ 1.6
そ の 他	333	360	▲ 27	▲ 7.4
(2) 扶 助 費	347	355	▲ 8	▲ 2.1
(3) 公 債 費	963	964	▲ 1	▲ 0.1
2 投資的経費	1,105	1,096	9	0.8
(1) 普通建設事業費	1,093	1,059	34	3.2
(2) 災害復旧事業費	12	37	▲ 25	▲ 67.0
3 その他経費	3,671	4,046	▲ 376	▲ 9.3
(1) 補 助 費 等	2,723	3,084	▲ 361	▲ 11.7
(2) そ の 他	948	962	▲ 14	▲ 1.5
合計	8,095	8,592	▲ 497	▲ 5.8
新型コロナウイルス感染症対応経費	252	1,045	▲ 794	▲ 75.9

(注) 数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、端数において合計とは一致しないものがあります。

令和5年度一般会計決算(歳出・款別)

- 構成比の高い費目は、教育費、健康福祉費、諸支出金の順となりました。
- 前年度から増減した主な費目は、健康福祉費(▲392億円、新型コロナウイルス感染症に係る医療検査体制確保の減など)、産業経済費(▲307億円、愛郷ぐんまプロジェクト、営業時間短縮要請協力金の減など)、総務費(+157億円、財政調整基金積立の増など)となっています。



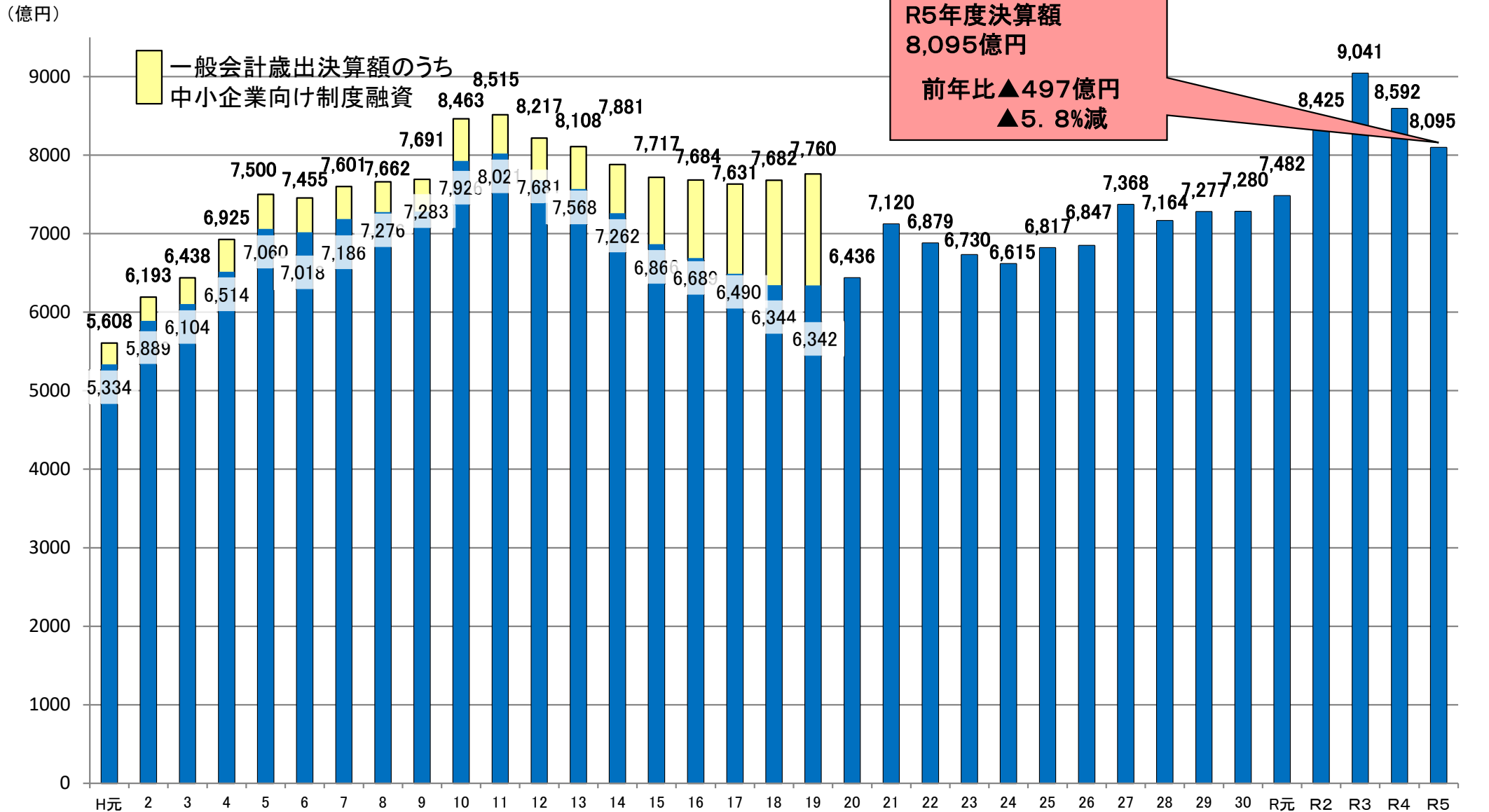
(単位:億円、%)

科目	R5年度 決算額	R4年度 決算額	比較	
			増減額	増減率
教育費	1,540	1,581	▲ 42	▲ 2.6
健康福祉費	1,500	1,892	▲ 392	▲ 20.7
諸支出金	1,115	1,096	19	1.7
公債費	965	966	▲ 1	▲ 0.1
県土整備費	879	804	75	9.4
総務費	617	460	157	34.2
警察費	433	433	0	▲ 0.0
生活こども費	380	385	▲ 5	▲ 1.3
農政費	195	203	▲ 8	▲ 3.7
環境森林費	146	139	7	5.0
産業経済費	117	424	▲ 307	▲ 72.4
その他	208	209	▲ 1	▲ 0.6
合計	8,095	8,592	▲ 497	▲ 5.8
新型コロナウイルス感染症関連経費	252	1,045	▲ 794	▲ 75.9

(注) 数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、端数において合計とは一致しないものがあります。

一般会計歳出決算額の推移

○ 令和5年度の歳出決算額は8,095億円で、新型コロナウイルス感染症関連経費の減により前年度を下回りました。



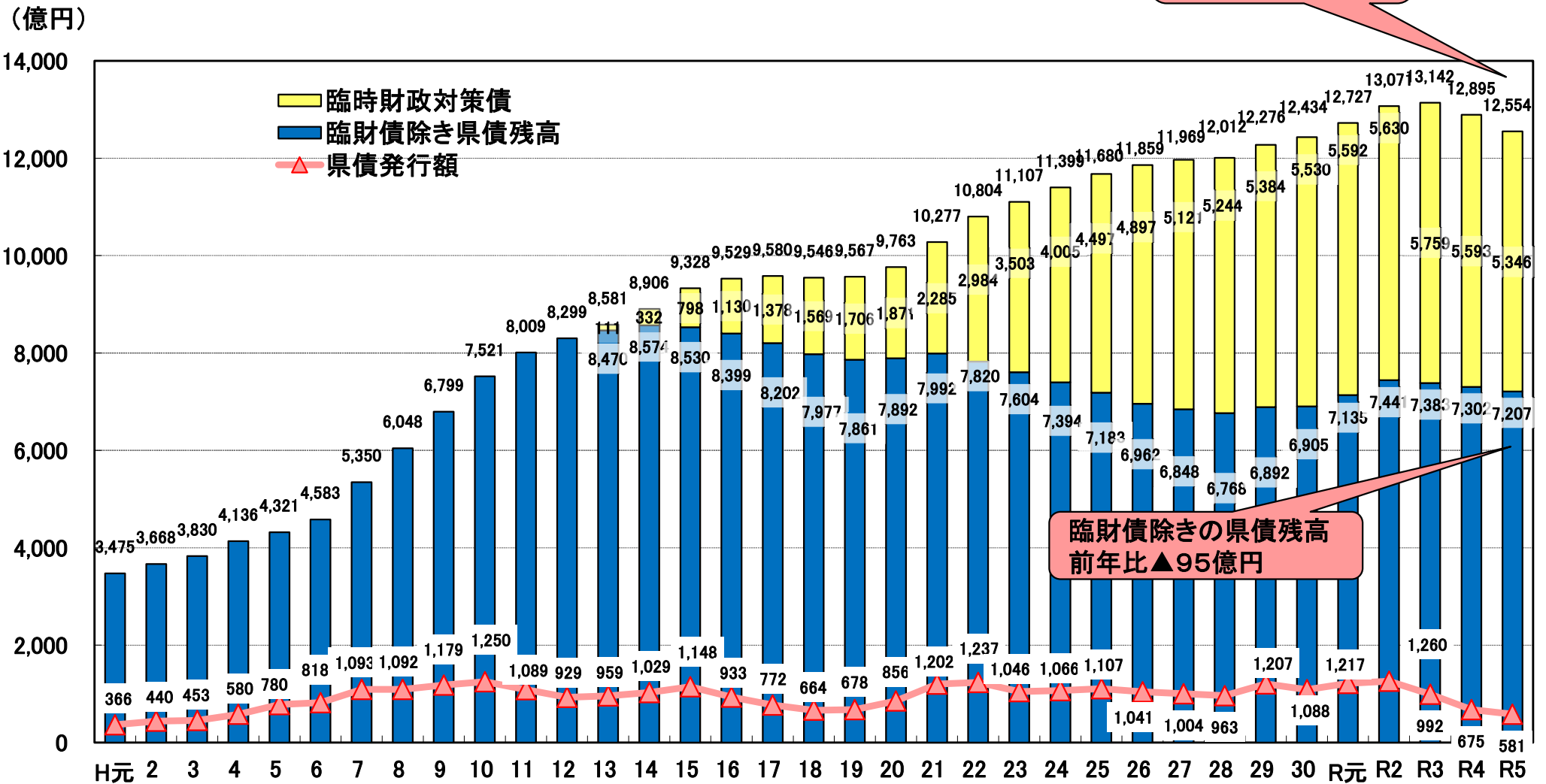
(注)平成20年度から制度融資を特別会計に移行したため、平成元年度から19年度については、上段の数値が制度融資を含めた決算額、下段の数値が制度融資を除いた決算額となっています。

(年度)

群馬県の県債

- 県債残高は1兆2,554億円で、前年度に比べ▲341億円減少しました。県債残高の減少は2年連続です。
- 実質的な交付税である臨時財政対策債を除いた県債残高は7,207億円となり、前年度に比べ▲95億円減少しました。

前年比▲341億円
※県民1人あたり残高
約66万円

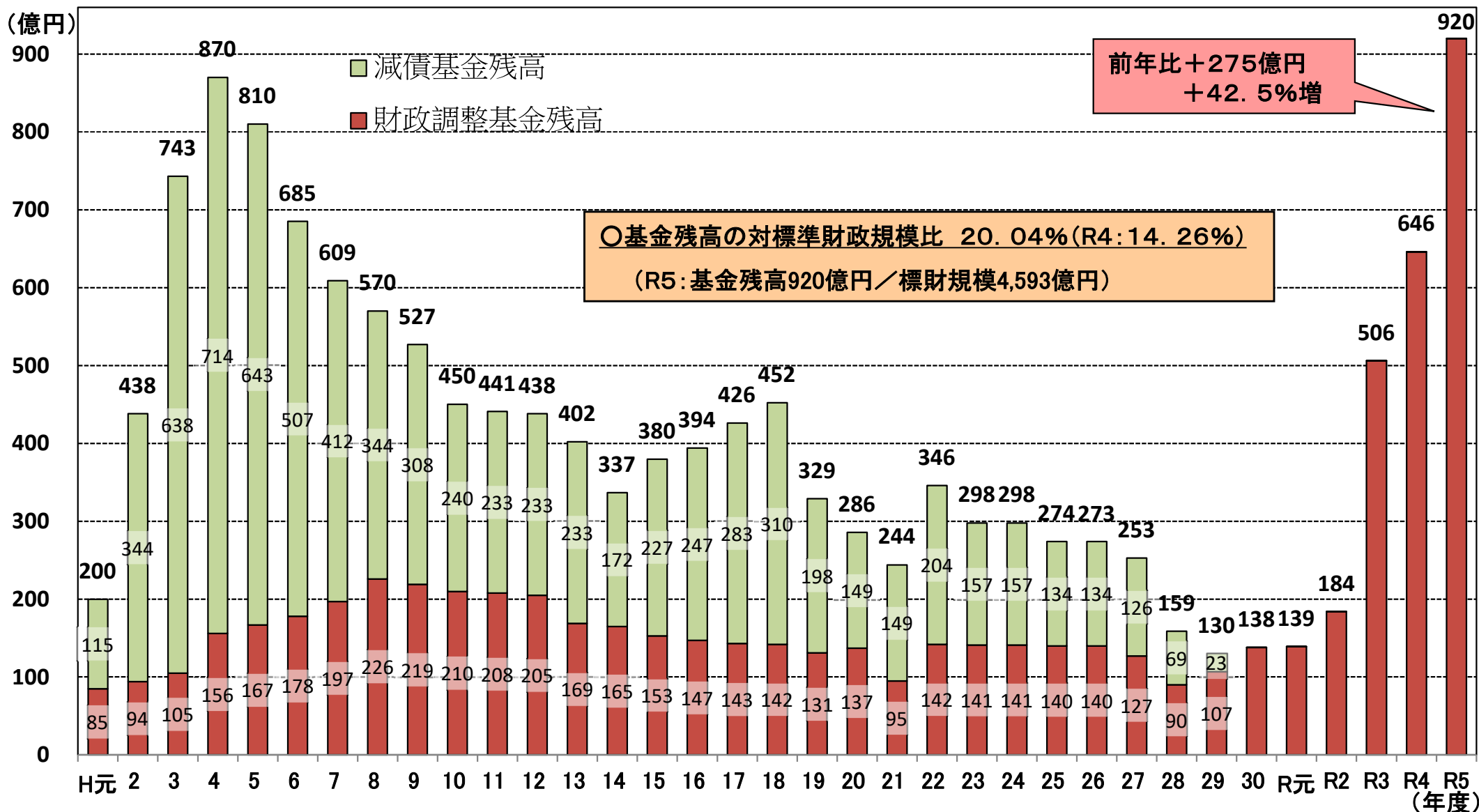


臨時財債除きの県債残高
前年比▲95億円

(注)・県民一人あたりの県債残高は、R6.3.31現在の住民基本台帳に基づく人口数で算出したものです。
・数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、端数において合計とは一致しないものがあります。

群馬県の積立基金

○ 財政調整基金の年度末残高は、前年度末に比べ、+275億円増の920億円となりました。



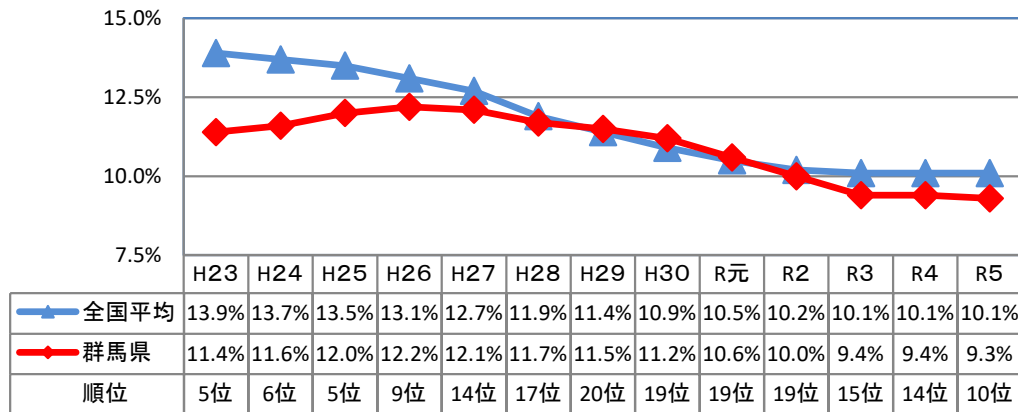
(注)・減債基金残高は満期一括償還の償還準備分を除いたものです。
・数値は、表示単位未満を四捨五入しているため、端数において合計とは一致しないものがあります。

財政健全化法に基づく財政指標

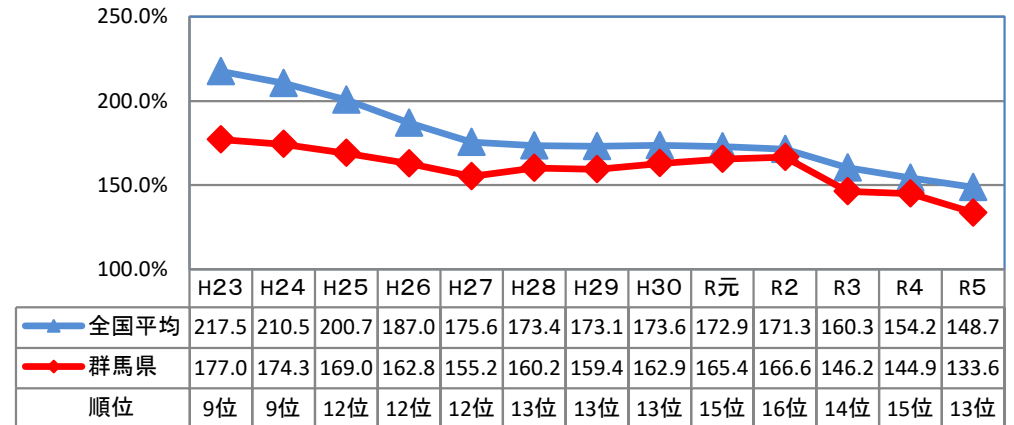
○ 財政健全化法に基づく健全化判断比率は、令和4年度決算と同様にすべての指標が早期健全化基準を下回っています。

指 標	令和5年度決算	令和4年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
① 実質赤字比率 ・一般会計等に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの	— (赤字なし)	— (赤字なし)	3.75%	5%
② 連結実質赤字比率 ・企業会計を含む全会計に生じている赤字の大きさを、財政規模に対する割合で表したもの	— (赤字なし)	— (赤字なし)	8.75%	15%
③ 実質公債費比率 ・県の借入金の返済額の大きさを、県の財政規模に対する割合で表したもの	9.3%	9.4%	25%	35%
実質公債費比率は、比率の分母となる県の財政規模が税収の増等により増加したことに加え、分子となる県債の元利償還金等が減少したため、0.1ポイント改善し、9.3%となった。				
④ 将来負担比率 ・県の借入金など現在抱えている負債の大きさを、県の財政規模に対する割合で表したもの	133.6%	144.9%	400%	—
将来負担比率は、比率の分母となる県の財政規模が税収の増等により増加したことに加え、県債残高の減少や県債の償還等に充当可能な基金残高が増加したことにより、比率の分子である将来負担額が減少したため、11.3ポイント改善し133.6%となった。				

実質公債費比率



将来負担比率



※表中の順位は、低い(良い)方からの全国順位です。

Well-beingを高める

～新型コロナウイルス感染症への対応～

医療検査体制の確保

(92億8,041万円)



ワクチン接種の推進

愛郷ぐんま全国割

(25億5,144万円)



愛郷ぐんま全国割

感染が急拡大した場合にも適切に対応できるよう、「ワクチン接種の推進」、「相談・検査体制の確保」、「医療提供体制等の確保」の取組を実施しました。

新型コロナウイルス感染症の影響による観光需要の落ち込みに対応するため、宿泊等割引事業として「愛郷ぐんま全国割」を実施し、観光需要の喚起、県内地域の観光振興を図りました。

生活者・事業者等支援 (47億5,592万円)



酪農経営緊急対策支援

LPガス販売事業者を通じた料金値引きによる一般消費者の負担軽減や、特別高圧電力を利用する企業、燃料・飼料価格高騰により影響を受けている畜産農家等に対する支援を実施しました。

医療・介護・保育所等支援 (27億2,544万円)



子ども食堂の様子

物価高騰の影響を受ける医療、介護施設、保育所、児童養護施設等に対し、支援金を支給しました。

子ども医療費補助

(42億4,258万円)



子ども医療費無料化

子どもが安心して必要な医療を受けられるよう、平成21年10月から中学校卒業までの医療費を無料化としてきました。また、令和5年10月からは、高校生世代まで対象者を拡大し、県内一律、通院・入院を問わない、所得制限や窓口負担がない、全国トップクラスの手厚い制度となりました。

医師・介護人材確保対策

(6億4,253万円)



山本知事と中堅医師との意見交換

ドクターズカムホームプロジェクト(DCHP)により、医師の確保等に取り組むとともに、医師の働き方改革を推進し、医療提供体制の確保に取り組みました。また、介護職への新たな人材の参入促進や職場定着及び資質向上に向け、関係団体と連携し介護人材確保対策を実施しました。

医療的ケア児等支援センターの設置 (1,545万円)



医療的ケア児等支援センター

医療的ケア児等とその家族が地域で安心して生活できるように「医療的ケア児等支援センター」を設置しました。

小児医療センター再整備 マスタープラン作成 (99万円)



現・小児医療センター

老朽化や医療機能の課題に対応するため、総合病院の隣接地を移転先とし、新病院の目指す姿を明らかにするマスタープランの策定に着手しました。
※本事業は病院事業会計

第3子以降3歳未満児保育料免除 (3億2,561万円)



保育所での保育

子育てをする多子世帯の経済的負担を軽減し、人口増加に向けた取組を推進するため、県内の第3子以降の3歳未満児の保育料無料化を市町村と連携して実施しました。

ケアリーバー支援推進 (2,614万円)



ケアリーバーへの支援の様子

児童福祉施設や里親など社会的養護の経験者(ケアリーバー)が自立して生活できるよう、退所前からの支援や退所後の相談体制強化など切れ目ない支援体制の構築に取り組みました。

Well-beingを高める

～災害レジリエンスNo.1の実現など～

災害レジリエンスNo. 1の実現 (406億7,597万円)



水害等の気象災害が頻発化・激甚化する中で、気象災害の新たな脅威にしっかりと対応できる「災害レジリエンスNo. 1」の実現に向け、ハード・ソフトが一体となった防災・減災対策に取り組みました。

県有施設の長寿命化 (39億694万円)



老朽化した県有施設や学校施設を長く使い続けるため、計画的な維持修繕を実施しています。

- ・知事部局等 17億3,602万円
- ・学校施設等 17億6,140万円
- ・警察施設 4億952万円

Well-beingを高める

有害鳥獣対策

(4億6,689万円)



わな猟初心者講習

野生鳥獣による農林漁業や生態系への被害軽減を図るため、地域が主体となって取り組む「捕る」「守る」「知る」の総合的な対策を支援しました。また、有害鳥獣の捕獲、ICTを活用、捕獲の担い手確保や人材育成、イノシシ移動・出没抑制のための河川内緩衝帯整備等に取り組みました。

交通安全施設整備・維持管理

(28億353万円)



新設した交通信号機・横断歩道

令和10年度末までに全ての信号機をLED化するため、計画的に整備を進めました。また、信号機、道路標識、横断歩道の新設・塗り替えなどにより、交通事故防止や安全かつ快適な交通の確保を図りました。

未来への投資・新たな富や価値の創出

～リトリートの聖地～

リトリート推進

(2,219万円)

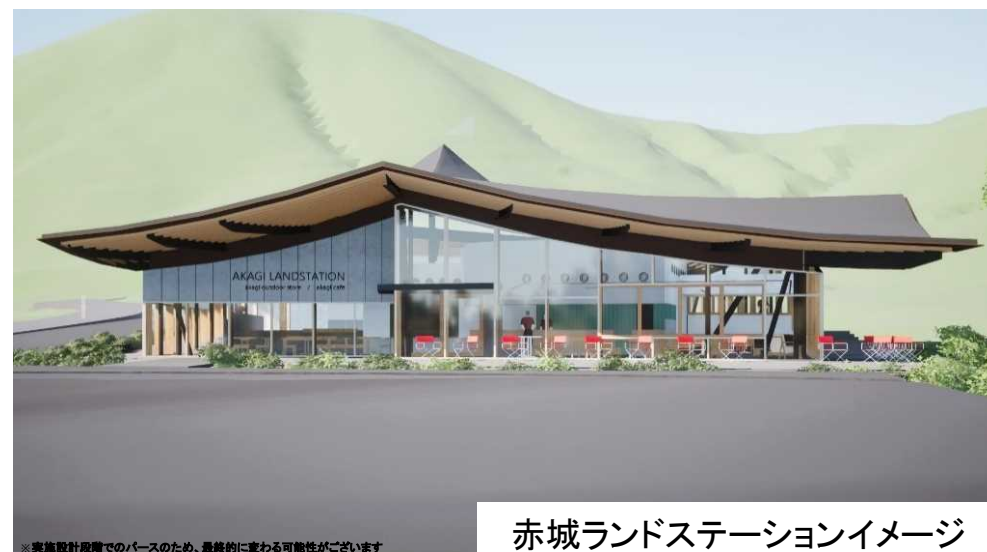


リトリートぐんま

「リトリート＝群馬県」の認知拡大・イメージ定着に向けたPRや、リトリートプランの造成・販売促進に取り組みました。また、長期滞在拠点の整備など、地域が一体となって進めるリトリート環境の整備に向けた事業計画を採択しました。

県立赤城公園活性化整備

(5億8,872万円)



赤城ランドステーションイメージ

赤城公園の活性化に向けて策定した基本構想に基づき、大沼キャンプフィールドと赤城ランドステーションの整備に向けた設計を行い、大沼キャンプフィールドについては、工事契約を締結しました。また、老朽化した覚満淵の木道再整備や啄木鳥橋の架替工事も実施しました。

未来への投資・新たな富や価値の創出

～デジタルトランスフォーメーションの推進～

MaaS社会実装支援

(3億6,411万円)



群馬版MaaS「GunMaaS」

デジタルイノベーション加速化

(1億2,696万円)



MRゴーグル(複合現実)を活用した作業手順可視化の実証

自家用車への過大な依存から公共交通への転換を促すため、MaaSプラットフォームの運用及びサービスの県内他地域への展開、交通以外の他分野と連携した取組を実施しました。

地域の産業・社会にイノベーションをもたらす可能性のある「デジタル技術を活用した新たなビジネス」の社会実証・実装プロジェクトを支援しました。

未来への投資・新たな富や価値の創出

～グリーンイノベーションの推進・群馬モデルの追求～

EVカーシェアリング実証実験 (4,732万円)



EVカーシェアリング

EV公用車のカーシェアリングによるコスト削減効果とエネルギーマネジメントの検証等を行うため、県有施設5か所にEV20台を導入し、平日は公用車として、休日は地域住民等とシェアするEVカーシェアリング実証実験を実施しました。

ぐんまちゃんブランド化 (3億2,303万円)



ご当地キャラカーニバル

群馬県のキラコンテンツの一つである「ぐんまちゃん」の認知度を世界的に高め、本県のブランド力強化と県民の郷土愛の醸成を図ることを目的に、全国でのプロモーションや動画コンテンツの制作・放送配信等を実施しました。

未来への投資・新たな富や価値の創出

～群馬モデルの追求～

有機農業推進

(7,240万円)



【ぐんま農業実践学校】有機農業コースが始動

環境負荷低減・資源循環型農業を推進し、農業の持続的発展及び有機農産物によるリトリートの価値向上を図るため、有機農産物の販路開拓・拡大を支援しました。また、農林大「ぐんま農業実践学校」(就農準備校)に有機農業コースを新設し、有機農業人材の育成に取り組みました。

ペットとの共生推進

(1,458万円)



海外有識者の招聘・探知犬お披露目

ペットが社会で活躍できるよう、犬の嗅覚等の能力を活用する研究を関係機関と協力して進めるとともに、ペットとの共生社会の実現に向けた普及啓発に取り組みました。

未来への投資・新たな富や価値の創出

～群馬モデルの追求～

湯けむりフォーラム2023 (5,794万円)



湯けむりフォーラム トークセッション

フラワーパーク改修 (3億8,390万円)



フラワーパーク改修イメージ

国内外のトップリーダーや有識者によるトークセッションなどを通し、課題の山積する地域社会だからこそ生み出せる新たな価値を創り出す、唯一無二のカンファレンスイベントを開催しました。

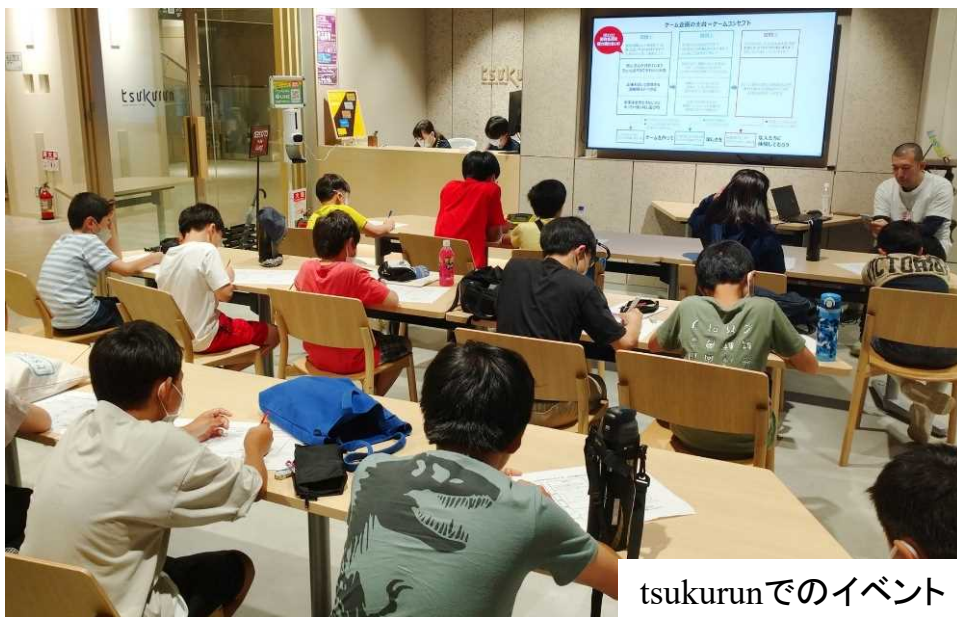
民間アイデアを活用し策定した「リニューアル基本計画」に基づき、施設改修に向けた基本・実施設計を行いました。また、第1期改修工事として、展示ホール及び大花壇の改修工事を行いました。

未来への投資・人への投資

～近未来構想のクリエイティブの発信源～

クリエイティブ推進

(6,268万円)



tsukurunでのイベント

クリエイティブな企業や人に選ばれるクリエイティブ拠点化を推進するため、全国初のデジタルクリエイティブ人材育成拠点「tsukurun」の運営や、デジタルクリエイティブコンテストを実施しました。また、アルメニアのTUMOセンター導入に向けた調査や空間デザインを実施しました。

映像制作サポート

(1,567万円)



撮影現場

「クリエイティブの発信源」の実現に向け、ぐんまフィルムコミッションによるロケ支援や、映像クリエイターを群馬に惹きつけるクリエイターズキャンプのほか、エコシステム構築や人材育成における連携を目的とした知事によるトップセールスを実施しました。

未来への投資・人への投資

～始動人育成～

OECDの社会情動的スキルに関する調査研究、非認知スキルの評価・育成
(7,726万円)

みらい共創中学校(夜間中学)
開校準備 (1億5,054万円)



スコットランド訪問



開校後の授業の様子

OECDが実施する国際的調査「社会情動的スキルに関する調査(SSES)」を県内すべての高校で実施しました。また、専門家委員会を設置し、SSESの分析、活用方法の検討、モデル校での実践研究を実施するとともに、OECDから先進地として紹介のあったスコットランドを訪問しました。

令和6年4月の「みらい共創中学校(夜間中学)」開校に向け、教室の改修工事や、机や椅子、教材等の備品整備を行いました。また、入学までの流れや授業のデモンストレーションを実施する入学希望者説明会や個別相談会を開催しました。

未来への投資・人への投資

～群馬パーセントフォーアート～

デジタルミュージアム推進

(6,337万円)



アーティスティックGUNMA推進

(1,222万円)



美術館・博物館の収蔵品をデジタルアーカイブ化し、Gメッセ群馬屋外スクリーンでの映像投影や、昭和庁舎でのデジタル展示に活用しました。

若手アーティストによる滞在制作やワークショップ、作品展示などアーティスト支援、アート教育に取り組みました。

未来への投資・人への投資

～多文化共生・共創～

多文化共生・共創県ぐんま推進
(3,137万円)

外国人介護人材マッチング支援
(573万円)



多文化共生イベント「からっかぜパーク」



個別面接会の様子

ぐんま外国人総合相談ワンストップセンター運営などの生活者としての外国人に対する支援や、生活環境整備の拡充、多文化共創のための事業を実施しました。令和5年10月には国籍、民族等の異なる人々がお互いの文化にふれ、一緒に楽しめる交流イベントを開催しました。

介護福祉士の資格取得を目指す外国人材と、県内介護福祉士養成校等とのマッチングを支援するため、合同説明会や個別面接会を実施し、介護分野における質の高い外国人材の受け入れを促進しました。